

みなみ ぼう そう

南房総


第50号
平成30年11月8日
議会だより



(富浦地区 目黒輝彦氏撮影)

9月定例会レポート

決算審査	4p
補正予算審査	8p
委員会報告	10p
5議員が市政を質す ～一般質問～	12p
こんなまちづくりに期待します	17p

表紙写真募集!

市内で撮影した四季の風景、イベント等の
写真で表紙を飾りませんか?
詳しくは18ページをご覧ください。



9月定例会

平成30年9月定例会が、8月30日から9月21日までの23日間開催され、報告案件5件、条例議案5件、一般議案9件、予算議案4件、決算認定9件を審議した。採決の結果、すべて原案どおり可決した。

決まった主なこと

○一般会計補正予算（第2号）学校等エアコン設置設計・ブロック塀の改修撤去

すべての幼・小・中学校にエアコンを設置。設計費4920万4000円。倒壊の恐れがあるブロック塀の改修・撤去。工事費2911万8000円。

○財産の取得（中型スクールバス2台購入）

和田地区から嶺南幼稚園、嶺南小学校への通園・通学用。2914万7020円。

○契約の締結

- | | |
|--|--------------|
| ・三芳中学校屋内運動場の改修 | 2億1567万6000円 |
| ・富山岩井運動場の整備 | 2億2550万4000円 |
| ・本庁舎の大規模改修（建築） | 4億3200万0000円 |
| ・ “ （電気設備） | 1億6610万4000円 |

○契約の変更（丸山・和田統合小学校等の建設）

- ・建築工事 21億60万円→21億1702万6800円
軟弱地盤対策・学校からの要望による、工事費1642万6800円を追加。
- ・機械設備工事 4億6332万円→4億6909万4400円
安房消防からの要請・子ども園からの要望による工事費577万440円を追加。

提出議案等議決結果

議案種類	件 名	議決結果
議案第49号	南房総市学童保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第50号	南房総市地域包括支援センターの設置者が包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第51号	南房総市行政連絡員設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第52号	南房総市家庭雑排水共同処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第53号	南房総市再チャレンジ奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第54号	契約の締結について（南房総市立三芳中学校屋内運動場改修工事（建築工事）請負契約）	原案可決 全会一致
議案第55号	契約の締結について（南房総市富山岩井運動場整備工事（土木工事）請負契約）	原案可決 全会一致
議案第56号	契約の変更について（南房総市立丸山・和田地区統合小学校等建設工事（建築工事）請負契約）	原案可決 全会一致
議案第57号	契約の変更について（南房総市立丸山・和田地区統合小学校等建設工事（機械設備工事）請負契約）	原案可決 全会一致
議案第58号	南房総市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決 全会一致
議案第59号	指定管理者の指定について（南房総市丸山交流・体験センター）	原案可決 全会一致
議案第60号	平成30年度南房総市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第61号	平成30年度南房総市一般会計補正予算（第3号）	原賛成 可決多数
議案第62号	平成30年度南房総市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第63号	平成30年度南房総市国保病院事業会計補正予算（第1号）	原賛成 可決多数
議案第64号	契約の締結について（南房総市役所本庁舎大規模改修工事（電気設備工事）請負契約）	原案可決 全会一致
議案第65号	財産の取得について（中型スクールバス購入）	原案可決 全会一致
議案第66号	契約の締結について（南房総市役所本庁舎大規模改修工事（建築工事）請負契約）	原案可決 全会一致
認定第1号	平成29年度南房総市一般会計歳入歳出決算の認定について	原賛成 認多数
認定第2号	平成29年度南房総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認一 定致
認定第3号	平成29年度南房総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認一 定致
認定第4号	平成29年度南房総市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認一 定致
認定第5号	平成29年度南房総市滝田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認一 定致
認定第6号	平成29年度南房総市北三原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認一 定致
認定第7号	平成29年度南房総市南三原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認一 定致
認定第8号	平成29年度南房総市国保病院事業会計決算の認定について	原案認一 定致
認定第9号	平成29年度南房総市水道事業会計決算の認定について	原案認一 定致

議案ごとの賛否

議案名		議員名																	
				神作紀史	山田一洋	鈴木克哉	石井教宇	阿部美津江	平川幸男	安田美由貴	峯隆司	川崎慎一	関壽夫	長谷川博	寺澤利郎	鈴木直一	川上清	辻貞夫	栗原保博
議案第61号	平成30年度南房総市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第63号	平成30年度南房総市国保病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○		○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	平成29年度南房総市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

(賛否が分かれた議案のみ掲載) ○：賛成 ×：反対

平成 29 年度決算を認定

9 会計総額 375 億 1,163 万円を支出



決算審査

9月12日、決算審査特別委員会を招集し、議長及び監査委員を除く全議員で審査を行った。

付託された議案は、原案のとおり認定すべきものと決定した。主な質疑・答弁は次のとおり。

◎一般会計

◇ふるさと納税推進事業
3億3443万円

問 ふるさと納税の返礼品の種類と参加会社数は。
企画財政課長 返礼品は230品、登録事業者は35社。

問 ふるさと納税の寄付額1億6219万円の使い方は。
企画財政課長 1億5023万円を「子どもたちの笑顔を育む事業」「自然環境を生かした地域づくり」等の財源。

問 返礼品を求めない納税者はいるか。
企画財政課長 市内者7人で43万5千円、市外者4人で262万円。

問 新巻鮭やその切り身は返礼品になるのか。
企画財政課長 材料は市外から調達したものであっても市内で加工したものは、返礼品となる。

問 「ふるさとチョイス」と「楽天」「ふるなび」の効果は。
企画財政課長 寄付金は昨年度より倍近く伸びている。

◇移住・定住推進事業
377万円

問 婚活イベントの開催数と参加者数は。
企画財政課長 内房・外房で1回ずつ行った。内房地区40人参加で5組、外房地区37人参加で9組のカップルが誕生した。

◇情報機器購入費
571万円

問 電子黒板等の整備状況は。
教育総務課長 電子黒板19台、書画カメラ31台、大判プリンター12台を整備。

◇通学費補助金
176万円

問 公共交通の利用地区と回数券等の購入方法は。
教育総務課長 白浜、富浦の2地区。日東交通を利用し、館山営業所で購入してもらっている。

よめこい

南房総市婚活支援事業

縁結び浜コン in 南房総

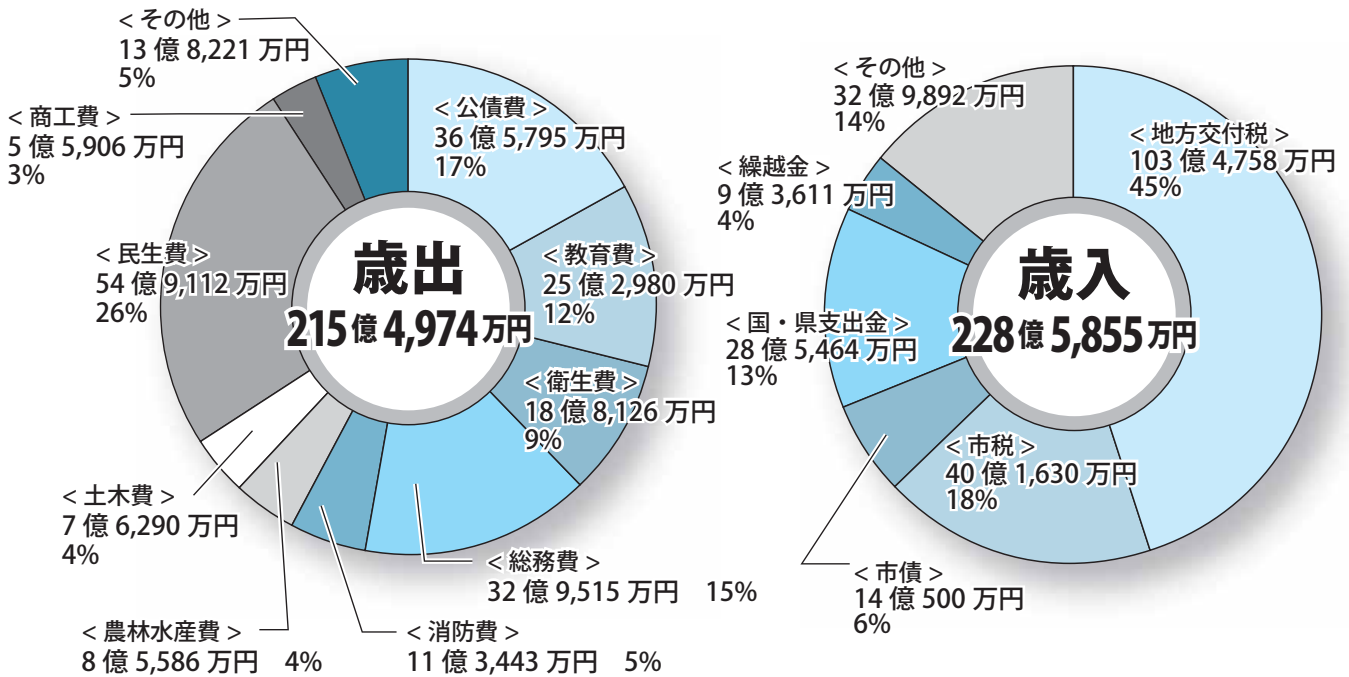
開催日 10月8日(月・祝)

昔ながらの縁日・・・
良き出会いは南房総で!

今年度も開催している婚活イベント

平成 29 年度一般会計決算内訳

決算審査



◇特別支援教育総合推進事業

576.9万円

問 0歳から子育て支援センターで行っている発達障害の子どもへの確認が、教育現場でどう生かされているのか。学校現場での支援員の活用状況は。

子ども教育課長 1歳半健診、3歳児健診時、子ども教育課や健康支援課で子どもの状況を確認している。

支援員の配置は関係者の相談により優先順位を決め、適正な配置に努めている。

問 支援員は何人いるか。全員が非常勤か。

子ども教育課長 支援員42人は全員非常勤職員。

◇中学生派遣事業

253万円

問 この事業の目的は。教育総務課長 ベルギーの都市とウオーキング大会を通して交流がある。



ベルギーの学生との交流

一人11万円。

◇一般中学校教育振興費

385万円

問 ブラスバンドの楽器のメンテナンスはどうしているか。

教育総務課長 学校管理費や教育振興費で対応。

問 派遣事業参加生徒への補助金は。教育総務課長 ベルギーは交通費の2分の1で

◇社会福祉協議会

7969万円

問 なぜ2000万円減ったのか。

社会福祉課長 人件費の一部を委託費に回し、調整したため。

◇高齢者福祉計画策定事業

298万円

問 介護施設等の建設は、計画に掲載してなくてはならないのか。

健康支援課長 計画に載っていれば県の助成を受けることができる。



消防出初式

問 介護老人福祉施設の扱いは前回の計画とどう違うのか。

健康支援課長 地区を限定していたものを市内全域に広げた。

◇非常備消防費

1億3686万円

問 消防団員の欠員状況と、その理由は。

消防防災課長 106人が欠員。地域に人がいない。

問 道路交通法の改正後の対応は。

消防防災課長 新たに普通免許を取得した者は、消防車が運転できなくなった。準中型免許の取得に向け補助制度を考える。

◇障害者日中一時支援事業

94万円

問 どのような事業か。社会福祉課長 障害者の見守りと生活訓練の支援を行っている。

◇家計相談支援業務委託

133万円

問 利用実績は。社会福祉課長 12件。

◇子ども医療助成制度

8249万円

問 所得制限を受けている世帯数と人数は。社会福祉課長 55世帯85人。

◇外出支援サービス事業

203万円

問 前年度と比べ、増減は。

健康支援課長 タクシー助成券の交付者は、28年度151人が昨年度132人。バス助成券は、28年度413人が昨年度262人。

◇防災対策費・管理用備品

980万円

問 期限切れに近い備蓄食品の取り扱い。

消防防災課長 防災訓練、宿泊体験等要望があれば配布する。

◇防災行政無線管理費

5331万円

問 市内の自主防災組織の申請件数は。消防防災課長 今年度の自主防災組織の申請数は富浦2、富山4、芳2、白浜5、千倉8、丸山3、和田4。

問 継続。

◇地域づくり協議会支援員設置事業

3129万円

問 地域づくり支援員はいつまで配置するのか。

市民課長 現状では各地区2人ずつの配置。まちづくりの基本をなす支援員なので当面は継続。



タクシーとバスの助成券

平成 29 年度 主な会計別決算

会 計 名	歳 入	歳 出
一 般 会 計	228 億 5855 万円	215 億 4974 万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	76 億 1880 万円	69 億 1672 万円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	5 億 8878 万円	5 億 8588 万円
介 護 保 険 特 別 会 計	53 億 5622 万円	52 億 898 万円

決算審査

◇地域創生総合プロ
デュース事業
2978万円
名品づくりグラン
プリに出店した品物は
市内で売ったり食べた
りできるのか。
地域資源再生室長 優勝
準優勝の商品は、道の
駅やセブンイレブンで

◇有害鳥獣被害対策事業
7025万円
問 イノシシ以外にサ
ルの被害はどうか。
農林水産課長 富浦・富
山に目撃情報や被害が
発生している。白浜な
どにいるアカゲザルも
減っていない。引き続
きアカゲザルの捕獲を
行っている県と相談し
対応する。

◇ごみ収集事業
1億5590万円
問 ごみステーション
のにおい対策として、
設置補助金を増やして
はどうか。
市長 地区の中で話し
合って場所を決めてい
ただければ、設置費用
の2分の1（上限
2万5千円）を補助する。

◇栽培漁業推進事業
3786万円
問 アワビの増産対策
事業の成果は出ている
のか。
農林水産課長 天然資
源のみを増産させると
いう技術は今のところ
ないが、放流している
種苗の効果により資源
の増加が期待できる。
外房地域では資源回
復の傾向も見られる。

◎国民健康保険・後期
高齢者医療・介護保
険特別会計
◎滝田・北三原・南三
原財産区特別会計
◎国保病院・水道事業
会計
原案どおり認定。

公営企業会計決算

会 計 名	収 益 的 収 支 (営 業 に 関 わ る お 金)		資 本 的 収 支 (資 本 の 増 減)	
	収 入	支 出	収 入	支 出
国保病院事業会計	5 億 395 万円	6 億 287 万円	1761 万円	2327 万円
水道事業会計	13 億 8630 万円	15 億 683 万円	3 億 1361 万円	11 億 1717 万円

一般会計補正（第2号・第3号）9,205万円を追加し、

総額 **241億7,182万円**



補正予算

9月11日、予算審査特別委員会を招集し、議長を除く全議員で審査を行った。
主な質疑・答弁は次のとおり。

◎一般会計補正（第3号）

◇保育所運営一般事業

500万円

問 本市で病児・病後児保育を実施する事業所は。

子ども教育課長 千倉の七浦診療所。

問 病児・病後児保育に預けられる子どもは登録制か。何歳まで対象か。

子ども教育課長 登録制。生後57日の乳児から小6まで。

◇母子生活支援施設入所措置事業

319万円

問 対象人数は何人か。支援施設は県内に何力所か。入所手続等

の相談窓口はどこか。

社会福祉課長 一人親世帯で親が1人、児童が4人。把握している施設は6力所。窓口は社会福祉課児童福祉係。

◇外房漁村再生事業

1440万円

問 漁村地域活性化交付金事業補助金要綱の支援対象は漁協のほか、市長が指定する組織とある。水産加工協

同組合は、市長が指定する組織か。

農林水産課長 水産加工業協同組合は、漁協と同じ水産業協同組合というくくりで、国・県も同列の扱いなので、同様と判断する。

◇消防施設費

16万円

問 千倉分署の移転候補地はいくつか挙がっていたのか。どんな経過で買うことになったのか。

消防防災課長 昨年度、消防本部と候補地を検討したが、2月に交渉が不調となった。その後、現在の予定地を消防本部と選定し、交渉している。

問 未買収の場所に、水道工事だけ行うのは、順序としてどうか。

市長 分署の建設には、既に所有者の合意と安房広域理事会で了解を得ている。水道工事を道路改良工事と合



病児・病後児保育を行う七浦診療所



千倉分署建設予定地

会に承認され、正式な事業化になる。

その後、地元関係者や代表者へ説明し、住民への説明は、議会報告後、行う考えでいた。

問 地元区への説明会の予定は。

市民生活部長 区長と相談して、説明会を行う予定。

反対討論

千倉分署建設予定地は住民説明が行われていない。

安房広域で候補地を定めた後に登記簿を取り、初めて所有者がわかった点が疑問なので反対する。

賛成討論

この予算は、七浦幼稚園の整備、病後児保育、漁村再生事業等、市民も注目する事業が盛り込まれているので、早急に実施すべきと考え、賛成する。

採決の結果、賛成多数で原案どおり可決。

◎国保病院事業会計

問 一般社団法人と地域医療連携推進法人の登記費用は。

国保病院事務長 一般社団法人の定款認証に5万円、登記費用が6万円。地域医療連携推進法人の登記費用が6万円かかる。

問 いづころ登記を行うのか。

国保病院事務長 来年1月ごろになる。

問 今年度中に県の認可を受け、法人を立ち上げられるのか。

国保病院事務長 年度内の設立は可能と考える。

反対討論

年度内でなく時間をかけたほうが良い。医師会のトップだけではなく、下で働く人たち

に対しても説明を十分行うよう求める。

賛成討論

年度内にやろうと関係者も努力している。ここで病院がなくなってしまうといくら都心に近いと言っても、医療施設がないところはどうしても沈んでいく。

◎介護保険特別会計

多くの方々に富山国保病院を利用していただき、少しでも活気を付けていただきたい。

採決の結果、賛成多数で原案どおり可決。

原案どおり可決。



富山国保病院

補正予算

わせて行い、二重に経費がかからないよう、後々の負担も考え実施した。

問 地域住民に移転の説明を行わず、水道工事をやるのはどうか。

消防防災課長 安房広域議会終了後に、地元

問 市議会の承認を得てから地元の承認を得るのか。

市民生活部長 所有者に了承を得て、安房広域理事会、安房広域議

区長に報告した。市議会報告後、各行政区等へ説明会を行う予定。

本庁舎大規模改修の 電気設備工事再入札 当初予定価格より 64 万円減

総務



大規模改修を行う富浦本庁舎

9月10日、総務委員会を招集し、審査を行った。
主な質疑・答弁は次のとおり。

◎契約締結・本庁舎大規模改修（電気設備工事）

問 当初の入札と再入札との内容の違いと予定価格は。
管財契約課長 耐震性、防災拠点機能の強化、老朽化に伴う基本部分は変えず、仕上げ材、

LED照明等の一部を変えて再入札を行った。当初の予定価格は1億7452万8000円、再入札の予定価格は1億7388万円で、64万8000円の減となった。

◎学童保育所設置管理条例の一部改正

◎契約変更・丸山和田統合小等建設（建築工事）

◎契約変更・丸山和田統合小等建設（機械設備工事）

◎財産取得（中型スクールバス購入）

付託された議案は、原案どおり可決。

丸山交流体験センターを (株) JAS に5年間 指定管理委託

産業



丸山交流・体験センター（白子ローズマリー公園の裏）

9月7日、産業委員会を招集し、審査を行った。
主な質疑・答弁は次のとおり。

◎家庭雑排水共同処理施設設置管理条例の一部改正

問 原岡海水浴場の水質は改善されているのか。
環境保全課長 水質が処理目標値以下となり、平成27年度から稼働を

◎指定管理者の指定（丸山交流・体験センター）

問 新規就農者は何人いるのか。
農林水産課長 現在5人の新規就農者を研修生として雇用中。
問 支出計画にある納付金とは。
農林水産課長 年26万1000円の土地賃借相当額を市に納付する。

◎再チャレンジ奨学金貸付条例の一部改正
◎水道事業会計未処分利益剰余金の処分

付託された議案は、原案どおり可決。

富浦・丹生区と深名区が合併 名称は深名区

福祉

9月10日、福祉委員会を招集し、審査を行った。主な質疑・答弁は次のとおり。

◎地域包括支援センター事業実施基準条例等の一部改正

問 主任介護支援専門員の更新研修の規定がなくなるのか。何年以内に更新研修を行う必要があるのか。

健康支援課長 研修規定を別の条文に定める。5年ごとに更新研修を受けることとなる。

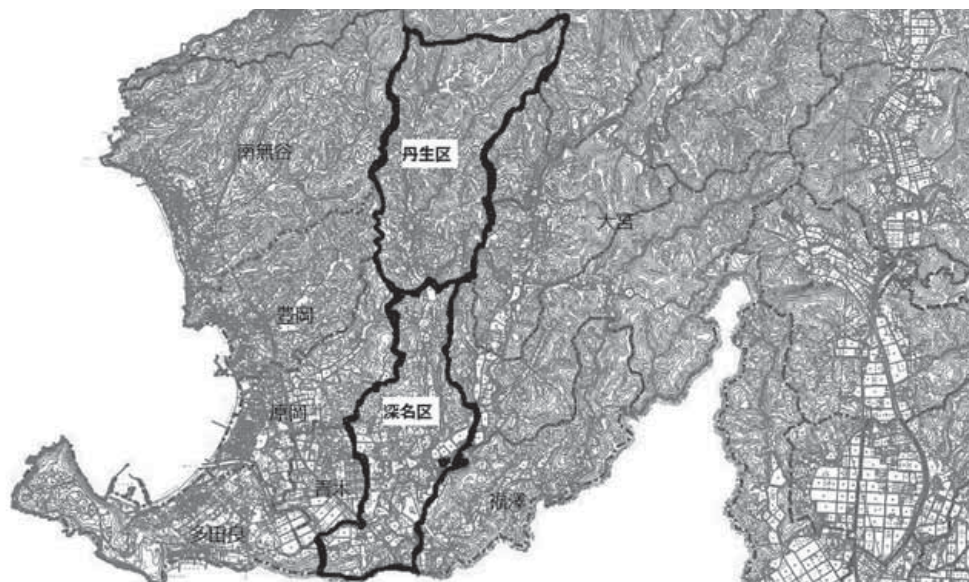
◎行政連絡員設置条例の一部改正

問 人口が減り、市は区の合併を進める立場か。

市民課長 合併は区の総意に基づくもので、市が推進する考えは今のところない。

問 深名区と丹生区から相談があったのか。

市民課長 昨年8月に両区長から相談を受け、今年3月の総会で合意に至った。5月、市内すべての区長会長に合併の報告があった。付託された議案は、原案どおり可決。



深名区と丹生区

5人の議員が市政を質す

一般質問

避難所にテレビの整備を

速やかにテレビ・ラジオの設置をしていきたい



阿部美津江議員

防災マップ

問 防災マップのリニューアルは、スケジュールと内容は、

市長 内容は詰め込み過ぎず十分検討

話し来年度に見直し作業をして翌年度に配布を行う予定。

問 AEDの設置箇所、の掲載や絵文字や多言語による防災マップの作成の考えは、

市長 AEDの設置箇所なども含めて記載内容を検討する。

市民生活部長

主に公共施設の再編等により廃止された施設や名称が変更になった施設を整備し避難場所等の図記号の標準化に取り組む。

防災備蓄

問 アレルギー対応の備蓄や液体ミルクの備蓄の考えは、

市長 平成24年度から平成29年度の5カ年で計画的に、市民の2割、3日分の9食、約7万3千食を備蓄している。

市民生活部長 必要な整備充実に努め事業者との災害協定なども含めて検討していく。

市長

画が必要。参加状況、取り組み状況と対応は。各種会議等は内部・外部ともに女性委員はいない。避難訓練については男女別の参加者数は把握していない。女性の視点を生かした防災対策の充実は必要と考える。

女性視点の防災

問 避難訓練や防災会議等で女性参

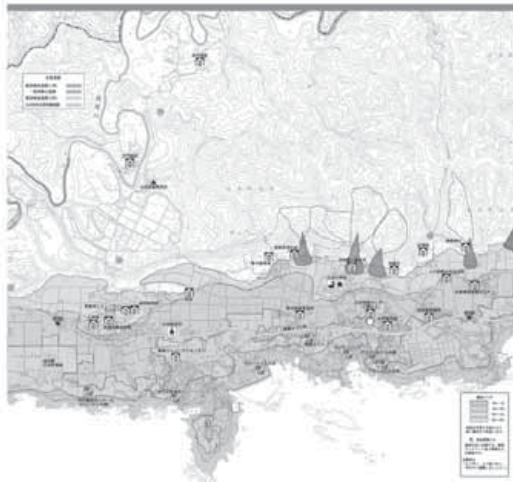
加している。そのうち59%に当たる4万3千食をアレルギー対応として備蓄している。乳児用液体ミルクの製造販売が本年8月に解禁となったため、販売された場合は速やかに備蓄していく。

防災士

問 育成と地域防災を推進する上での役割や地域にとっての位置づけは、

市長 意見交換会の開催や防災士と地域のつながりが深まるよう防災士の資格取得に対する補助金交付要綱見直し・自主防災組織要綱作成の推進等を検討している。

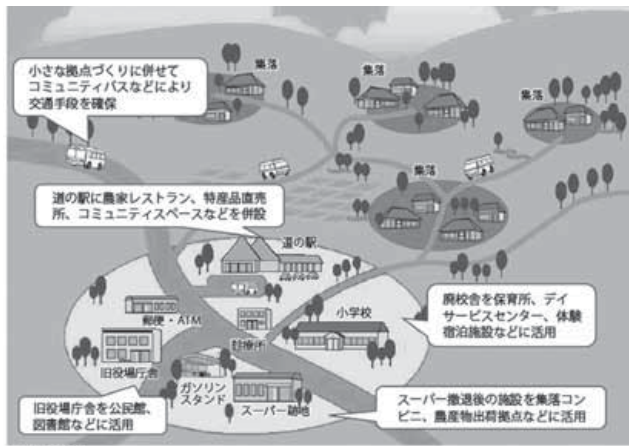
防災マップの一部



問 段ボール製のベッドや間仕切りなど、長期避難生活に備え、実績ある事業者との災害協定も必要



防災倉庫の備蓄用品



コンパクトシティ

10年後の南房総



山田 一洋議員

次世代に負担のないようコンパクトシティを考えているのか

将来への負担をなるべく少なくし、健全な財政運営を進めている

問 次世代に負担のないようコンパクトシティを考えているのか。

市長 各種計画に基づき、合併特例債をはじめ有利な起債等を活用し、公共施設の再編等に取り組んでいる。将来への負担をなるべく少なくし、健

全な財政運営が継続できるよう、現時点で可能な範囲での施策を進めている。

問 人の住む場所、守るべき農地、山に返す場所の再整備は。

市長 土地利用計画は重要であると認識し今後、地域産業の振興や人口バランス等を踏まえ、健全な調和を図り、慎重に地域の意向を確認して検討する。

問 ライフラインの維持が困難な地域のため新たな住宅団地は。

市長 住宅団地について国からの支援策として、定住促進団地整備や集落移転など

の助成があるが地域の現状や思い、あり方を地域の皆様と考える。

問 農業の法人化で後継者不足解消と地域活性化の考えはないか。

市長 法人化によるメリットがあるので、個人の主体性を重視し、個人から法人への変更について引き続き推進していく。

問 耕作放棄地問題の早期対応策は。

市長 土地改良区等を単位とした人・農地プラン、中山間地域等直接支払交付金事業、多面的機能支払交付金事業の活動組

織等を利用して話し合いをする。

問 GPSによる自動操舵には、大区画化、団地化が必須、ほ場整備の支援策はないのか。

農林水産部長 人・農地プランを作成すると可能となる補助事業がある。

問 観光産業は道の駅を拠点に考えたかどうか。

市長 施設の整備、機能の見直しを行っている中で各道の駅の活用方法を考えていきたい。

問 本市の花畑にはインスタ映

えする場所がない。道の駅を中心に取り組むべきだと考えるが。

商工観光部長 地域農家が景観づくりに努めているが、継続できる方法を模索していく。



耕作放棄地



昨年度の成人式



石井 教字議員

成人年齢が18歳になった時の成人式はどうなる

政府や県及び近隣市町の動向を確認し総合的に判断する

成人式はどうなる

民法の改正で成人年齢が18歳になった時、成人式はどうなるか。

教育長

上川法務大臣は、平成32年度以降、できる限り速やかに適切な情報発信をすると発言があった。

政府や県からの情報、

想像もしない、自然災害への対応は

災害対応への現状は。

市長 自然災害はいつ起こるかかわからない。銚子地方気象台や民間の気象会社から気象情報の収集を行い、安全に避難ができるよう明るうちに避難準備・高齢者等避難開始を発令し、市内7カ所に自主避難所を開設している。

高齢者が電子機器から災害情報を得ることができるのか。

市民生活部長 携帯電話やスマートフォン、安心安全メール等は、補完的な情報取得の手段である。報道機関や全戸配布の防災行政個別受信機や屋外のパンザマスからの放送で取得できると考えている。

市長 高齢者の緊急事態に対応するため、緊急通報システムが139人に貸与されているが、この機器を使って災害時の安否確認はできないか。

保健福祉部長 緊急通報システムは、災害時の安否確認を目的に導入したものでないが委託業者や消防防災部局と協議・検討していく。

人生100歳時代

どのような取り組みがされているか。

市長 高齢者の知識や技術を生かし活躍できる場、地域のコミュニティとして、老人クラブ、各地域での会合や教室の運営の支援。

また、在宅でも生き生きと生活ができるよう介護予防事業等に取り組んでいる。

市長 高齢者が公共施設を使う時、使用料の減免は。

平成27年に使用料の見直しを



昨年の台風被害で修復を待つ、富浦町南無谷海岸（無名橋付近）



安田美由貴議員

地域医療連携推進法人の進捗状況は

富山国保病院と太陽会で設立準備し、病床転換を検討中

問 国保病院が太陽会が2025年度に向けて、病床転換に国・県の基金を使う予定か。

市長 今後、臨機応変に一番良い方法を考える。

問 昨年10月以降、医師は何人確保できたのか。

市長 目的に

国保病院事務長 今までの医師

問 太陽会から主に理学療法士が派遣予定だが、医師不足の解消は法人の設立目的にないのか。

国保病院事務長 「医療従

事者の適正な配置を行う」とある。

ごみ処理事業連携の最終報告書

問 かずさクリーンシステムのスラ

市長 溶融物取扱専門商社に年間数十

問 2市1町のごみ量を1割増しで試算した理由は、

建設環境部長 君津地域4市

問 6市1町の20年間の負担金は、1トン当たり、鴨川3万6千

円、南房総3万7千円、鋸南4万1千円。君津

地域4市は、それぞれ

建設環境部長 2市1

問 協議会と教育委員会会議を公開

教育長 公開する考え

問 その続に「保護者や住民が容易に情報を得られるよう公表時期の改善を図ること」とある。内容が8月末まで非公開なのは、通知に反する。

問 教科書展示会での意見は、どう反映されたのか。

教育長 県が行っているので、内容は関知しない。

市長 国の議論を見守る。

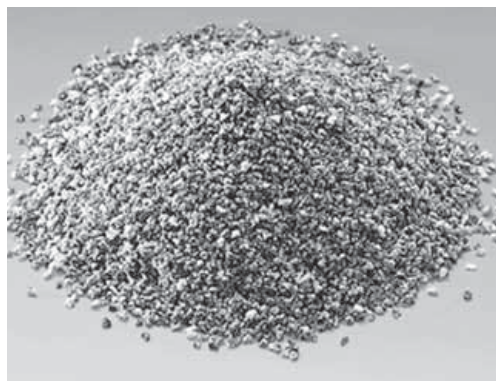
教科書展示会での意見は、どう反映されたのか。

教育長 県が行っている

市長 国の議論を見守る。

問 エアコンの電気代が気になり熱中

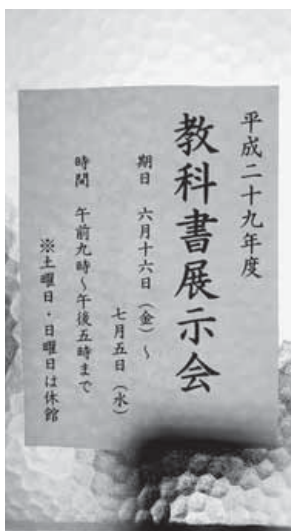
市長 国の議論を見守る。



スラグの売却益は年間十万円ほど



館山教科書展示会は土日休館





鈴木 克哉議員

民間法人参入で猪肉を有効活用ブランド化する考えは

民間の参入があれば市としても協力する

観光の振興について

問 総合計画後期基本計画内での観光振興の進捗状況は。

市長 後期基本計画にある観光振興

ビジョンの見直しは、平成22年度から平成26年度までの5年間のビジョンとしている。総合計画の中で観光振興ビジョンの見直しと取り組み

問

観光振興ビジョ

とあるが、平成22年から平成26年までの5カ年計画と作成されている中、期間の延長などは考えてないか。

市長

見直しは行っており、ビジョ

ンの期間は終了している。

問

観光計画終了から1年半もたつのにそのままというのはどうかと思うが。

商工観光部長

新たな総合計

画の中で観光施策についてその方向性を位置づけ、進める。

有害鳥獣の取り組み

問

現行の有害鳥獣の最終処分は狩猟者が行っているが、捕獲数も多く、処分に

対し、大変苦慮されていると聞く。捕獲した鳥獣等について、ジビエ肉として有効活用することを考えているか。

市長

県の施設として有害鳥獣の焼却施設を整備する要望を行っているが、実現には至っていない。

農林水産部長

イノシシ肉の利活用については、放射能検査の問題が大きく、検討は進められていない。

問

房州ボタン肉などの地域の特産品として扱っていけないものか。

農林水産部長

市では、商品開発や販路確保の支援を行う事業もあり、さま

ざまな展開を考えていく。

問

食肉加工を目的とした民間法人に対して、どのような協力ができるのか。

農林水産部長

イノシシの食肉加工施設の運営には、

捕獲されたイノシシが円滑に搬入される必要がある不可欠。捕獲活動の主となる有害鳥獣対策協議会や捕獲現場周辺地域の皆さまとの協力体制づくりを支援したい。



観光客に人気の原岡栈橋



罠にかかったイノシシ



こんなまちづくりに 期待します

大好きな花畑を守るために



いしい さわ
石井 佐和さん
(千倉地区)

先日、私の友人が南房総市へ観光に来ました。
その友人は、南房総市がとても素敵な場所だと言ってくれました。

よくテレビでも観光地として紹介されているのを見かけます。私はそのような地元を誇りに思います。

しかし、私が生まれ育った千倉地区では、観光資源である花畑が後継者不足でどんどんなくなっています。

そして、花畑が減るにつれて観光客の数も減ってしまいます。

それにより、ホテルや旅館、飲食店などを利用する人の数が減少し、産業が成り立たなくなると私は考えています。

それを防ぐためには、花畑を作っている人々へ行政からの支援が必要だと思います。

私は千倉の花畑を子どもの頃から見てきたので、花畑が減ってしまうのはとても寂しいです。

だから、花畑を保ち、観光客の数が増えてにぎやかになっていく「まち」の姿を見たいです。

南房総白浜らしさを残して欲しい



ひらの じゅんな
平野 順菜さん
(白浜地区)

私は小学生から変わらなかった美容師になるという夢を叶えるために、今は東京の学校へ通っています。東京での生活は毎日忙しく充実していて楽しいです。どこへ行くにも電車で行けますし、買い物や遊ぶ場所は沢山あります。

ですが、やはり白浜のゆったりと流れる時間、建物が低いところ、空気や磯の匂い、人の温かさが大好きで、帰るチャンスがあれば今すぐにでも東京を飛び出したいです。

私の中の地元の一大行事としては、「南房総白浜海女まつり」があります。海女をしている母と一緒に「海女の大夜泳」に高校の時から参加していますが、こんなにも人が集まり、海女さんがスターになれる、一年の中で白浜が一番活気溢れるこの行事をずっと続けていって欲しいです。

不便な所もありますし、遊ぶ所も限られています。でも、都会ではできないこと、ここでしか感じられないことが沢山ある事に地元を出てから気づきました。

そんな私の大好きで大切な場所は、いつまでも変わらない素敵な場所であって欲しいと思います。

議会広報編集特別委員会では、市民の皆様のまちづくりに対するご意見・ご要望の投稿を募集しています。掲載を希望する場合は、本文は400字以内、顔写真が必要です。

※地区ごとに掲載していますので、時間が掛かる場合があります。

連絡・投稿先 南房総市富浦町青木 28 番地 議会広報編集特別委員会 TEL 0470-33-1111 FAX 0470-20-4595



表紙の写真を募集します



市議会では、年4回(5月・8月・11月・2月)議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれるため、写真等を募集しています。

募集する写真

市内で撮影された冬の風景

応募資格

市内在住・通勤・通学の方



応募方法

住所・氏名・電話番号・撮影場所・撮影日時を記入の上、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。
(データで送られる際はサイズ 2MB 以上 5MB 未満でお願いします。)



応募上の注意

- ・市内で撮影された写真に限ります。
- ・応募写真に個人を特定できるような人物(第三者)が写っているとき、または撮影した対象物が個人の所有物である場合は応募者の責任で人物(被写体)、または所有者の承諾を得てください。
- ・採用された人は表紙に氏名を公表させていただきます。
- ・ご応募いただいた写真等は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

選考方法

議会広報編集特別委員会で決定し、掲載します。

応募の締め切り

平成31年1月10日まで



南房総市議会のホームページで
ライブ・録画配信しています。
スマホでも視聴できます。

市ホームページ

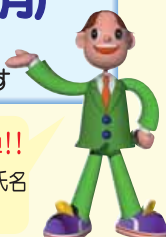
市議会

市議会インターネット中継
からご覧ください。

12月定例会は
12月3日(月)

午前10時から
予定しています

傍聴手続きは簡単!!
市役所2階で住所・氏名
を書くだけです。



お問い合わせ

南房総市議会事務局
住 所: 〒299-2492
南房総市富浦町青木28
電 話: 0470-33-1111
メール: gikai@city.minamiboso.lg.jp

猛暑が長く続いた今年の夏も終わり、過ごしやす季節になりました。
29年度決算認定を含む9月議会が終わりました。
今回の50号より、表紙の写真を「スポーツ少年団」から「四季折々の風景」に変更し、市民からの写真を掲載致します。
たくさんのご応募をお願いします。
国保病院の医療連携法人化やごみ処理広域化等の課題があります
が、市民に開かれた議会を目指して、紙面作りをしてまいります。
併せて市政に関するご意見もお待ちしております。

編集室より